

令和 6 年度 学校評価書 (計画段階)

福岡県立 嘉穂総合 高等学校

90

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p>生徒一人ひとりの個性と可能性を伸ばし、地域社会に貢献できる人材を育成する昼間定時制高校 生徒それぞれの個性や特性を理解し、基礎的・基本的な学力の定着を図るとともに、体験的な活動を通して社会性を育み、地域社会に貢献できる人材を育成する。</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・確かな学力を身に付けるために努力できる人 ・社会で役立つ知識や技術、マナーを身に付けたい人 ・地域社会に貢献したい人 ・互いの良さを認め、人と協力して物事に取り組める人 ・新しいことに挑戦しようとする意欲のある人
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数授業による「学び直し」の充実 ・家庭に関する専門科目を学び、生活関連産業に関する理解を深化 ・ビジネス文書実務検定や情報処理検定等の資格取得の推進 ・地域行事やボランティア参加による郷土愛の醸成 ・地元企業見学等、地域と連携したキャリア教育 ・生徒主体の学校行事運営による自己有用感の育成
	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人として必要な基本的知識や技能、資質・能力を身に付けた人材の育成 ・地域と連携し、地域社会に貢献できる人材の育成 ・主体的に考え、行動できる人材の育成 ・人とのつながりや仲間を大切に社会性を身に付けた人材の育成

学校運営計画(4月)

<p>学校運営方針</p>	<p>総合的で活力ある教育を、情報を基調とする家庭に関する学科において展開することにより、高度情報通信ネットワーク社会の幅広い分野で活躍できる人材を育成する。また、勤労と責任を重んじ、社会の有為な形成者となり得る資質を、地域と連携し育成する。</p>		<p>評価 (総合)</p>
<p>昨年度の成果と課題</p>	<p>年度重点目標</p>	<p>具体的目標</p>	
<p><成果> 1 生徒理解、保護者との密接な連携による中途退学者・転学者数の減少 2 生徒の個性を把握による個に応じた授業展開と落ち着いた授業環境の生成 3 地域と連携による多様なボランティア活動の実施と地域への貢献および、生徒の社会性の向上 4 毎朝の健康観察シートの提出による、生徒の心身の状況の把握 5 個別的教育支援計画や個別の指導計画の全職員での共有と共通理解 <課題> 1 基本的生活習慣の確立による出席状況の改善 2 ICT機器の効果的活用と計画的なソフト充実の推進による基礎学力の定着 3 計画的なキャリア教育の推進と進路選択の幅を広げる取り組みの充実 4 生徒主体の学校行事運営と生徒会活動活性化による自主性の育成 5 ボランティア活動による地域とのより一層の交流推進と生徒の社会性の育成</p>	<p>確かな学力の育成</p>	<p>(1) 学び直しによる義務教育段階の学習内容の確実な定着 (2) 個別最適な学びのための生徒の一人ひとりの実態把握と個別の指導目標に応じた能力の伸張 (3) ICTの効果的な活用推進と分かる授業を目指した職員研修の充実</p>	
	<p>健やかな体の育成と豊かな心の涵養</p>	<p>(1) 基本的生活習慣確立のための保護者との緊密な連携による出席状況の向上 (2) 規範意識の育成と自他の人権や生命を尊重する心といじめを許さない雰囲気醸成 (3) 教育活動全体を通じた、コミュニケーション能力を高める活動の実施 (4) 生徒主体の学校行事運営と生徒会活動活性化による自主性の育成</p>	
	<p>第一希望進路の実現</p>	<p>(1) 生徒一人一人のキャリア形成と3年間を見通したキャリア教育による第1希望進路の実現 (2) ガイダンス機能の充実と体験型プログラムによる健全な職業観・勤労意欲の育成 (3) 奨学金・支援等の確実な情報提供と人権感覚に基づく適切な修学・就職支援</p>	
	<p>特別支援教育の充実</p>	<p>(1) 合理的配慮に基づく個別最適な学びの実践 (2) 特別支援の視点に立った教育環境のユニバーサルデザイン化の推進 (3) 外部専門機関との連携による卒業後まで見通した計画的支援</p>	
	<p>地域との連携強化及び広報活動の充実</p>	<p>(1) 学校全体でのボランティア活動による地域とのより一層の連携強化と地域貢献 (2) 異世代との交流による生徒の社会性とコミュニケーション能力の育成 (3) 地域に向けた積極的な情報発信</p>	

様式3

	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
教務部	基礎学力の定着と向上を図る。	授業の中に学び直しの学習を取り入れ、義務教育段階の学習内容の定着を図る。 考査前学習会を実施することで学力不振の生徒に対し、基礎学力の向上を図る。	授業アンケート	
	魅力ある分かる授業の構築を図る。	相互に授業参観を行い、タブレットや電子黒板やICT機器の効果的な活用に努める。 観点別評価による指導と評価の一体化を充実させ、授業に意欲的に取り組む生徒を育成する。	授業アンケート	
	個の実態に応じた授業内容の構築を図る。	特別支援の視点から生徒の実態に合わせた合理的配慮に基づいた教科指導を行う。 学期毎に授業評価アンケートを実施し、生徒の授業に対する意識を高め、実態を把握する。	授業アンケート	
進路指導部	社会人として必要な職業観の育成を図る。	インターンシップやボランティア活動により地域の職業人とのかかわりを持つことで職業意識の向上を図る。 応募前職場見学1人2回以上実施実施するにより、企業の実態を知り、働くために必要な資質を学ばせる。	「足あとノート」に感想等を記入	
	効果的なキャリア教育を実施する。	外部との連携を図り、体験的な進路ガイダンスを学期毎に実施し、進路意識の向上を図る。 始業前の時間をキャリアアップタイムとして位置づけ、進路目標に応じた学習を行うことで成長を促す。	「足あとノート」に感想等を記入	
	それぞれの進路希望に合わせた進路実現を目指す。	適性検査や基礎力診断テストにより、適性を客観的にとらえ、生徒の適性に合わせた進路実現を行う。 奨学金等の情報提供や生徒の進路希望を十分に把握するため、進路面談を充実させる。	進路希望アンケート	
生徒指導部	生徒が伸び伸びと安心して学校生活を送れる学校づくりを目指す。	個人面談や教育相談、家庭訪問や三者面談等を通して生徒理解に努める。 相談ポスト・校内巡視等によって、生徒の抱える悩みに早期に対応する。	学校生活アンケート	
	生徒会活動を通して自主的計画的に行動できる資質を養いリーダーを育成する。	全校朝礼の運営、毎月の清掃活動を通して、学校や地域への帰属意識を高める。 行事ごとに生徒からのアイデアを反映させ、学校行事への参加意識を高める。	学校満足度アンケート	
	地域社会と連携してボランティア活動を推進し、地域の活性化に寄与する。	一夜城祭り・千手とうろう祭り・Ilove遠賀川清掃活動等に積極的に参加する。 ボランティア活動への参加を奨励し、ボランティアマインドを育成する。	行事後アンケート	
	生徒が心身共に健康的な学校生活を送れるようにサポートする。	「命の大切さ」をテーマに講演会を実施し、自他の人権尊重の精神を育成する。 毎朝の健康観察を実施し、心身の両面から生徒の状況把握と支援をする。	いじめアンケート	
保健部	教育相談を充実させ、支援を必要とする生徒に適切な対応を行う。	健康相談・教育相談を行い、情報の共有に努め、対応を協議し、支援をする。 生徒情報交換会といじめ防止対策委員会との相互連携を図り有効な支援をする。	いじめアンケート・学校生活アンケート	
	特性ある生徒に対して全職員統一した支援を行う。	SC・SSW等の関係機関と連携をとりながら、個性や特性にあった支援を考える。 個別の教育支援計画や個別の指導計画を参考に生徒支援をする。	学校生活アンケート	
研修部	校内職員研修を年5回実施し、様々な教育活動における生徒への支援体制を強化する。	生徒の適性検査分析報告、特性のある生徒への対処法等の職員研修を企画・実施する。 ICT機器を活用した生徒主体の授業を構築するための職員研修を企画・実施する。	校内職員研修会アンケート	
	校外研修に積極的に参加し、教員としての資質及び技能の向上を図り生徒に還元する。	各種校外研修に参加し専門家の講義を聴講することにより教員の対応力・教育力を養成する。 生徒情報交換会において支援を要する生徒の情報交換を行い、教員間の共通理解を図る。	各種研修会アンケート	
	生徒対象の人権学習会を各学年年間3回実施し生徒の人権意識の高揚を図る。	人権学習会の事前学習会を実施し、生徒の実態に応じた学習会の在り方を模索・実施する。 生徒が積極的に学習会に参加できる雰囲気醸成し、生徒主体の学習会の構築を目指す。	人権学習会用ワークシート	

様式3

1学年	基本的な生活習慣の確立を目指し、自らのスケジュールを管理することができる。	「足跡ノート」を有効に活用し、自分でスケジュールを管理し行動に繋がる力を身に付ける。	「足跡ノート」に感想等を記入	
		欠席・遅刻等への早期対応に向け家庭と連携を密にし、共通理解のもとで解決を図る。		
	進路目標を持ちその達成に向けて努力し、社会に適応できる資質を身に付ける。	キャリア教育を通して勤労意欲の向上を図り、保護者と連携して進路目標の実現を目指す。	学校生活アンケート	
		授業規律の確立を図り、挨拶や敬語の使用等を励行させ、規範遵守の精神を涵養する。		
学校行事に積極的に参加し、クラス全員で協力し助け合い喜び合う経験に学ぶ。	それぞれの学校行事の意味を理解させ、全員で一所懸命取り組む本校の伝統を伝授する。	各行事後のアンケート及び感想文執筆		
	各自が自分の役割を遂行することで、クラスや学校に貢献しているという意識を認識する。			
2学年	基本的な生活習慣に基づいた自己管理能力の育成を行う。	欠席しない雰囲気づくりに努め、年間皆勤者5名以上を目標とする。	学校生活アンケート	
		全校集会やHR、総合的な探求の時間を通して挨拶や社会のマナーを身につける。		
	人間関係形成能力・社会性能力を身につけさせる。	集団生活におけるマナーや他者への気遣いなど周囲の状況からの確に自らの行動をとれるよう指導を行う。	各行事後のアンケート及び学期末アンケート	
		学校行事やボランティア活動を通じて、仲間と協働して目標を達成する力を養う。		
進路目標を明確にし、社会に適応できる資質能力の育成を図る。	進路ガイダンスやインターンシップ等を通して、進路選択に対する意識付けを行う。	スケジュール帳に学んだことを記入		
	キャリア教育を通して勤労意識の向上を図り、保護者と連携して進路実現を目指す。			
3学年	学習習慣・生活習慣を確立し、自らの進路実現を意識し、社会で活躍できる人材を育成する。	自らの進路を意識し、基礎学力の定着、挨拶、敬語、礼儀等の社会的スキルを身に付けさせる。	保健調査	
		進路指導と関連付けて社会人としてのマナーを身に付ける。		
	最高学年としてリーダーシップを発揮し、自らの進路実現のために努力を惜しまない生徒を育成する。	学校行事やボランティア活動では、最高学年として、自ら考え行動し、下級生の模範となる生徒を育成する。	学校生活アンケート	
		最後まであきらめない強い意志を持ち、自分の進路を積極的に開拓する生徒を育成する。また、第一希望進路を実現していく過程を通して、それぞれの成長を支援する。		
希望進路を実現する。	個々の進路に応じて学力構築・志望理由書の添削・小論文、面接指導を徹底する。	スケジュール帳を利用した自己管理		
	進路決定後の授業態度や出席状況、他の受験生への気遣いに対する指導を徹底する。			